

令和4年度オンライン全国弓道大会実施要項

1. 目的 各加盟団体の代表者によって構成されるチームにより、互いに技を競い、競技力の向上、弓道の普及及び発展を図る。また、全競技をオンライン上で実施することで、オンライン弓道競技会の開催・運営方法に関する知見を全日本弓道連盟及び加盟団体間で獲得・共有する。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 主管 令和4年度オンライン全国弓道大会実行委員会
4. 期日 令和5年3月21日（火）
※大会開催に関する会議は、全て大会前（締切後）にメールによって行う。
5. 会場 大会本部：全日本弓道連盟事務所（JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内）
競技実施場所：主催者と各参加団体間の取り決めによる全国各地の弓道場
6. 競技種目 近的競技
7. 競技種類 団体競技
8. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
9. 競技日程 3月21日（火）
9：00～ 本部及び各会場間での通信確認
9：30～ 団体予選（5人立・各自4射・計20射）
12：00 予選終了
（昼休憩）
13：00 決勝トーナメント1回戦（全8試合、2試合同時に行う）
14：00 決勝トーナメント2回戦（全4試合、2試合同時に行う）
14：30 決勝トーナメント準決勝（全2試合、1試合ごとに行う）
15：00 決勝トーナメント決勝
15：30 終了・解散
- ※参加チーム数により若干の変更が生じる場合がある。詳細は後日案内の「運営の手引き」による。

10. 競技方法
- (1) チーム編成
- ①競技は、5人立で行う。
 - ②チームの登録は、監督（選手兼任可）1名、選手5名、補欠3名以内とし、選手の立順は、参加申込時の登録順とする。
 - ③出場選手5名は、40歳未満2名、40～59歳2名、60歳以上1名とする。
- (2) 予選
- ①事前の抽選によって決めた立順で、4チームずつ行射する。
 - ②各自4射1回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ③決勝トーナメント進出の為の同中競射は、各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の同中競射で順位が決まらない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
- (3) 決勝トーナメント
- ①トーナメントの組み合わせは、予選順位によりその位置を決定する。
 - ②各自4射1回のトーナメント法で行う。
 - ③同中の場合は、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の同中競射で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
- (4) 選手、監督の変更及び交代については、別途メールにて参加チームに連絡する。
11. 表彰 優勝から3位（3位2チーム）のチームに本連盟より賞状・メダルを授与する。
12. 参加資格
- (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟会長の認証を受けた者であること。
 - (2) 出場選手の年齢は、大会当日を起算日とする。
 - (3) 各都道府県弓道連盟から団体競技1チームとする。
 - (4) 所属する地連が位置する都道府県において、新型コロナウイルス感染症によるスポーツ大会を含めたイベントの開催自粛要請が出されていないこと。
 - (5) 新型コロナウイルス感染症に対応したガイドラインに沿って参加できること。
 - (6) 近的競技を5人立で行える会場を確保できていること。
 - (7) オンライン大会を実施できる環境が(6)の会場に備わっていること。

13. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会要項による。
14. 参加料 無料（但し、参加に伴う通信機器の整備、通信料、会場使用料は各地連で負担すること。Zoomのホストは大会本部で用意する。）
15. 参加申込 以下のリンクから申込みこと。参加申込にあたっては、オンライン担当者の氏名及び連絡先を記入すること
<https://forms.gle/9VYzsfwfD8tQGHYe7>
参加申込が完了すると入力したメールアドレスにコピーが送信されます。
参加しない地連は回答する必要はありません。
16. 締切日 令和5年2月28日（火）
※参加申込時点で選手名を登録する必要はない。参加選手の登録は、後日案内する登録フォームに3月17日（金）までに記入すること。
17. 注意事項 (1) 競技の服装は、弓道衣（筒袖・袴・白足袋）とする。
(2) 坐射が困難な選手は立射での参加も認める。申請等は不要とする。
(3) 参加者各位においてスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。
(4) その他、各地連において定められた事項があれば、その内容に従うこと。
18. 審判 各会場において、競技に直接参加しない公認審判委員資格を有している者が審判の役割を担うこと。審判は、競技が安全且つ適正に行われるよう監督する義務と責任を負い、各会場における競技結果が正しいことを確認すること。
19. 映像の取り扱いについて 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
20. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
ただし、下記（2）の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
(1) 関係書類への記載（氏名、所属地連、称号、段位）
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名、所属地連、称号、段位、写真）
(3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。
(4) 競技の様子は、当日全弓連公式YouTubeチャンネル上にてライブ配信を行う。